

鳥取 YEG 通信



発行：令和2年3月15日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

3

March 2020

2019年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 石畑 美幸
株式会社 富士ユニコン

例年になく降雪のない暖かい冬を越し、春に向かって当会事業もラストスパートです。2月に入りましてからは、スケジュールが非常にタイトで、怒涛の日々でした。1月に続き、2月1、2日には東京のアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」にて星取コンテツ委員会のメンバーとともに星取カレーを販売、星取県のPRを行ってまいりました。星型金箔入りのカレイトともに、鳥取県の星空の美しさをお伝えできたと思います。

2月5日には共創提言委員会主催でパートナー中小企業診断士事務所代表の大田一喜氏を講師にお迎えし、「知らなきや損！商工会議所150%トコト活用術」と題してご講演を頂戴しました。われわれの母体組織であります鳥取商工会議所を今以上に活用し自社の成長に繋げる有意義な内容で、拝聴したメンバーは今後の事業運営のヒントをいただくことができました。

2月8日には鳥取県商工会議所青年部連合会主催で、未来創造委員会のメンバーが中心となり、青年経済人と学生、教育関係者との意見交換会を開催しました。講師に高級食パンの仕掛け人ベーカーブローデューサー岸本拓也氏をお招きし、全国から来店依頼が殺到しているにも関わらず、鳥取に全国直営2号店をオープンさせた理由と、パンで街を元気にする秘訣をお聴きし、その後「将来、やりたい事 なり

たい自分、ありますか？」というテーマで100人を超える参加者が熱く語りました。今年度は、若者たちの未来のために「教育」というキーワードが不可欠だと未来創造委員会を立ち上げました。若者たちの声を直接聴くことができて、今後このような事業を継続してほしいとお声をたくさんいただき、若者たちの未来のために更なる精進をしていくことを改めて心に誓ったところです。

2月12日には例会を開催、委員会事業報告が行われました。各委員会の委員が開催数、事業数を見るにつけ、メンバー一同が熱意を傾け、地域のために活動してきたその軌跡に目頭が熱くなりました。会長という役割を仰せつかって、悩みながらも、メンバーに支えられて一杯の活動をできてきた本当によかったと思っております。

また、2月21、22日の日本商工会議所青年部第39回全国大会おじの開催に静岡めまづ大会にて、昨年11月に開催しました「鳥取交通フエスタ1日まるごと」とりバス！が日本YEG準大賞を受賞いたしました。今年度は第30回全国「みどりの愛護」のつどいに鳥取県都市緑化功労者知事表彰を受賞したこともあわせて、われわれの活動が評価され、今後の活動への大きなはずみとなりました。

3月には卒業例会、提言活動とまだまだ事業が続きますが、私の会長任期は今月末までとなりました。濃く、美しい、忘れられない一年となりました。私の周りにはたくさん笑顔が溢れ、皆さまの励みで私も笑顔で元気に任期を満了することができました。当会の事業にご協力いただきました関係各位、メンバーの皆さまには心からの感謝を申し上げます。この貴重な素晴らしい経験を次世代に伝えていくことをお約束して私の最後の挨拶とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

2月例会

日時 令和2年2月12日(水) 19:00~21:00
場所 鳥取商工会議所 大会議室

2月12日(水)19時より2月例会を開催しました。会長あいさつでは日々活発に行われているYEG活動の報告と最後に今年度もあとわずかですが充実した活動になるよう頑張りましたよとの言葉がありました。また日本YEG大賞にノミネートされている鳥取バスフェスタの件で、今月末に開催される日本YEG全国大会おじのくに静岡めまづ大会で結果発表となることから、大会登録へ最後の呼びかけもありました。

2月例会の内容は各委員会の事業報告会です。6つの委員会が15分間という時間制限の中で報告を行いました。各委員会の委員長が登壇し、それぞれが工夫を凝らして作成したスライドや動画を用いて発表します。発表内容を絞り、要点を押さえた発表で時間を超過する委員会はありませんでした。聞く側としてはとてもわかりやすく、一年間の充実した活動ぶりが伝わってきました。メリハリがあつて想いが伝わるとも良い報告会だったと思います。

終わりに3月末で卒会を迎えられる平田監事よりの監事所感をいただきました。長く会に在籍された平田監事のYEGへの想いと感謝が詰まった所感で、後輩メンバーの心にのこり、今後のYEG活動につながっていくと感じます。



石畑会長あいさつ



委員会報告



監事所感(平田監事)

総務広報委員会 副委員長 安田道人

鳥取県青連特別事業「高校生・大学生との意見交換会」

2月8日(土)に鳥取県商工会議所青年部連合会特別事業を鳥取県福祉文化会館にて開催しました。当事業は鳥取県のYEG3単会に加え、県内の高校生・大学生、PTAや教育委員会の皆さまを集め、「将来、やりたいことになりたい自分、ありますか」というテーマで、講演会と意見交換会の2部制で実施。総勢100人を超えるご参加をいただきました。講演会には世界を股にかけて活躍するベーカーリープロデューサーの岸本拓也氏を招き、自身の生い立ちと、夢や自己実現についてお話を伺いました。また鳥取という地方の可能性についてもお話いただき、学生や教育関係者だけでなくわれわれYEG会員にとっても大変勇気づけられる講演となりました。

第2部となる意見交換会では、「ワールドカフェ」という形式を用いて、前述のテーマについて参加者全員で自由な対話を行いました。皆活発に発言をさせていただきました。終了後の感想では「鳥取でも起業などやりたい事を実現出来る可能性を感じた」と「米子からはるばる参加したが、それ以上の気づきを得られた。参加してよかった」といった意見も聞かれ、こちらも大変充実したものとなりました。

未来創造委員会では今年度、若者の未来を創っていくような事業を行ってききましたが、今回の事業はその集大成と呼べるものになりました。県青連事業としても実施でき、参加者からも大変好評をいただいた非常に実りのある事業になったと思います。ご参加いただいた皆さま誠にありがとうございました。未来創造委員会 委員長 中井史生



講演会の様子



意見交換会の様子

共創提言委員会 オープン委員会

『知らないや損！商工会議所150% トコトン活用術』を開催しました

共創提言委員会は、令和2年2月5日(水)に『知らないや損！商工会議所150% トコトン活用術』と題しまして、オープン委員会を開催いたしました。パートナー中小企業診断士事務所 代表 大田一喜氏をお招きし、補助金の採択、資金調達など、「誰にでも分かりやすく、すぐに実践できるノウハウ」をご講演いただきました。

青年部活動以外で商工会議所を利用される会員は少ない現状の中、今回のご講演を拝聴し、「大変参考になった」「すぐにでも活用させていただきます」との声を多数いただきました。同日、実際に商工会議所で足を運んだ会員もあり、改めて世の中には知らないや『損』なことがたくさんあるなど痛感しました。

会員であるメリットを最大限に活用し、自社企業発展のため、今後とも商工会議所を積極的に活用していきたいと思えます。

共創提言委員会 委員長 松島新太郎



大田講師



オープン委員会の様子

「星取カレー」製作販売

当委員会は星取事業として「星取に絡めた商品化」を行いました。さまざまな選択肢がありました。老若男女問わず手に取ってもらいやすい「カレー」をツールとして発信していくことを念頭に「星取カレー」の商品化を行いました。

夜空を表現するため「竹炭」を使いカレーを黒くし、メインの具は地元食材の大山どりを使用。ポイントは星型の金箔。特別に星型金箔をつくり、黒いカレーにトッピングすることでインパクトのあるカレーとなりました。知事へ表敬訪問を行い、多くのメディアにも取り上げられ、東京では「とっとり・おかやま新橋館」で3日間の試食販売を行いました。とても好評で販売数は300箱を超え、星取県の意味や背景、取り組みなども多くの方に知ってもらおうとキックオフになり、非常に高い関心を持ってもらうことができました。

今後はさらに星取県の魅力を県内だけでなく県外でも浸透できるようにカレーの商品化の検討も含め、さらなるブラッシュアップを行っていきたく考えています。

星取コンテンツ委員会 委員長 濱本浩二



とっとり・おかやま新橋館



お客様への試食PR



星取カレー

新入会員



大森 誠君 (おおもりまこと)
事業所名 (株)Webもり
所属委員会 組織力・交流委員会



安井 愛貴君 (やすいよしとか)
事業所名 TREASURE(株)
所属委員会 未来創造委員会